

安全・安心科学技術の取組の経緯・現状

資料3-1

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会
安全・安心科学技術及び社会連携委員会(第1回) H25.3.25

H15.4~H16.4

安全・安心な社会の構築に資する
科学技術政策に関する懇談会
(局長懇談会)

「安全に資する科学技術推進戦略」
(H18.6 総合科学技術会議
安全に資する科学技術推進プロジェクトチーム)

<安全に資する科学技術の取組(事態別)>「大規模自然災害」「重大事故」
「新興・再興感染症」「食品安全問題」「テロリズム」「情報セキュリティ」「各種犯罪」

H18.3~

安全・安心
科学技術委員会

(科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会)

H18.7 推進方策

H21.6 推進について
(中間まとめ)

H22.3 推進について

H23.10 重要課題
について

安全・安心な社会の構築に
資する科学技術に関する重要
事項についての調査検討

H25.3~

安全・安心科学技術
及び社会連携委員会

(科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会)

調査検討事項

- (1)安全・安心な社会の構築に資する科学技術のあり方、重要研究課題
- (2)リスクコミュニケーションの実践的手法、リスクの抽出・評価及びリテラシー向上の方策等
- (3)市民・社会との双方向の情報共有の仕組み・方策、問題解決のための科学技術と社会連携・共創のあり方

従来の取組

H19~H23

安全・安心科学技術プロジェクト
(研究開発、知・技術の共有化)

重要研究開発課題の研究開発として、テロ対策技術等に係る研究開発と地域社会の安全・安心の確保に係る研究開発を実施。また、安全・安心に関わる知・技術の共有化として関係者のネットワーク構築を図った。

現在の取組

H24~H29

コミュニティがつなぐ安全・
安心な都市・地域の創造
(JST-RISTEX)

今後予想される大規模災害に対して社会をより強くなやかなものにする災害対策を実現するための研究開発等

H22~H27

犯罪・テロ対策技術等を
実用化するプログラム
(科学技術戦略推進費)

犯罪・テロ対策技術等について、関係府省庁との連携体制の下、テーマ設定、技術開発及び実証試験までを一体的に行う

H24~(実質H19~)

知・技術の共有化
(委託研究調査(単年度))

「日米安全・安心科学技術協カイニシアティブ」の枠組み等をふまえ、バイオセキュリティに関する専門家会合を開催し、知・技術の共有化

今後の取組

JST・科学コミュニケーション
センター調査研究

JST-RISTEX

安全・安心科学技術及び社会連携
委員会の検討を踏まえて、
新規事業を検討

(2)リスクコミュニケーション

引き続き、
新規採択を含めた
領域の推進

採択済
プロジェクトの
管理

(1)重要研究課題

JST・科学コミュニケーションセンター

JST-RISTEX

その他社会連携関連の取組

(3)双方向の情報共有、
社会連携・共創のあり方

H25も引き続き実施
・第7回日米バイオセ
キュリティシンポジウ
ム(専門家会合)の
開催を含む委託研究
調査